

重度身体障害者・  
認知症者への食支援

のみこみ安心  
ネット・札幌  
心

## 22日に公開研修会

のみこみ安心ネット・札幌(代表・生駒一憲北大病院教授)は第7回公開研修会「重度身体障害者・認知症者への食支援」を、22日午後1時から札幌市医師会館で開く。

基調講演は2題。「嚥下における姿勢と咳の重要性—重度身体障害者への嚥下支援からわかること」は、国立八雲病院で筋ジストロフィー患者などの食支援に長年関わってきた三浦利彦理学療法士が解説。「認知症者に対する食支援のポイント—日常の食を通じた口腔機能の向上の観点から」は、国内の第一人者、平野浩彦歯科医師(東京都健康長寿医療研究センター)が登壇。

パネルディスカッション「重度障害者に対する食支援の現状」は、札幌市で訪問に関わる歯科衛生士、看護師、言語聴覚士が議論を深める。

医師、歯科医師、看護師、薬剤師、セラピスト、栄養士、歯科衛生士、介護福祉士など、さまざまな医療介護職の参加を呼び掛けている。

事前参加登録はメールnomikomisapporo@gmail.comまたはファクス011(642)4291。氏名、所属、メールアドレス、ファクス番号、参加希望の旨を記載する。当日参加も受け付ける。